

Dell Latitude 7400

セットアップと仕様



メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

章 1: コンピュータのセットアップ	5
章 2: シャーシ	7
正面図	7
左面図	7
右面図	8
パームレストの図	9
底面図	10
章 3: キーボードのショートカット	11
章 4: 技術仕様	12
システム情報	12
プロセッサ	12
メモリ	13
ストレージ	13
メディア カード リーダー	13
オーディオ	14
ビデオカード	14
カメラ	14
ポートとコネクタ	15
ワイヤレス	15
ディスプレイ	16
キーボード	16
タッチパッド	16
タッチパッドジェスチャ	17
オペレーティングシステム	17
バッテリー	17
電源アダプタ	18
寸法と重量	18
コンピュータ環境	19
章 5: セットアップユーティリティ	20
BIOS の概要	20
BIOS セットアッププログラムの起動	20
ナビゲーションキー	20
ワン タイム ブート メニュー	21
セットアップユーティリティのオプション	21
一般オプション	21
システム設定	23
ビデオ画面のオプション	26
セキュリティ	26
Secure Boot (安全起動)	28
Intel Software Guard Extensions のオプション	28

パフォーマンス.....	29
電力管理.....	29
POST 動作.....	31
管理性.....	31
Virtualization Support (仮想化サポート)	32
ワイヤレスオプション.....	32
メンテナンス.....	33
システムログ.....	33
BIOS のアップデート.....	33
Windows での BIOS のアップデート.....	33
Linux および Ubuntu での BIOS のアップデート.....	34
Windows の USB ドライブを使用した BIOS のアップデート.....	34
F12 ワンタイム ブート メニューからの BIOS のアップデート.....	34
システムパスワードおよびセットアップパスワード.....	35
システム セットアップパスワードの割り当て.....	35
既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更.....	36
BIOS (システム セットアップ) パスワードとシステム パスワードのクリア	36
章 6: ソフトウェア.....	37
ドライバのダウンロード.....	37
章 7: ヘルプ.....	38
デルへのお問い合わせ.....	38

コンピュータのセットアップ

1. 電源アダプタを接続して、電源ボタンを押します。

メモ: バッテリー電源を節約するために、バッテリーが省電力モードになることがあります。



2. Windows システムのセットアップを完了します。
3. 画面の指示に従ってセットアップを完了します。セットアップの際には、以下のことをお勧めします。
 - ネットワークに接続して、Windows アップデートが行えるようにします。
 - **メモ:** セキュアなワイヤレスネットワークに接続する場合、プロンプトが表示されたらワイヤレスネットワークアクセス用のパスワードを入力してください。
 - インターネットに接続されたら、Microsoft アカウントでサインインするか、またはアカウントを作成します。インターネットに接続されていない場合は、オフラインのアカウントを作成します。
 - Support and Protection (サポートおよび保護) の画面で、連絡先の詳細を入力します。
4. Windows スタートメニューから Dell アプリを見つけて使用します。 — 推奨

表 1. Dell アプリを見つける

Dell アプリ	詳細
	Dell 製品の登録 デルに、お使いのコンピュータを登録します。
	Dell ヘルプとサポート コンピュータのヘルプとサポートにアクセスします。
	SupportAssist コンピュータのハードウェアとソフトウェアの状態をプロアクティブにチェックします。

表 1. Dell アプリを見つける（続き）

Dell アプリ	詳細
	 メモ: SupportAssist 内で保証有効期限をクリックすることで、保証の更新またはアップグレードを行えます。
	Dell アップデート 重要な修正プログラムおよびデバイス ドライバが提供された場合に、お使いのコンピューターを更新します。
	Dell Digital Delivery さまざまなソフトウェアアプリケーション（購入済みだがプリインストールされていないソフトウェアなど）を、お使いのコンピューターにダウンロードします。

5. Windows 用のリカバリドライブを作成します。

 **メモ:** Windows で発生する可能性がある問題のトラブルシューティングと修正のために、リカバリドライブを作成することが推奨されています。

6. 詳細に関しては、「[Windows 用の USB 回復ドライブの作成](#)」を参照してください。

シャーシ

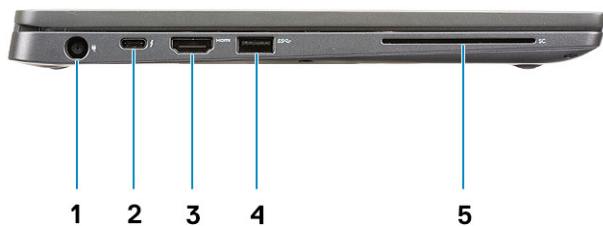
本章では、シャーシの各部（ポートおよびコネクタを含む）を図示すると共に、Fn ホットキーの組み合わせについて説明します。
トピック：

- [正面図](#)
- [左面図](#)
- [右面図](#)
- [パームレストの図](#)
- [底面図](#)

正面図

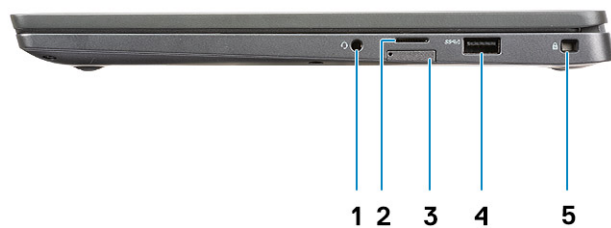
1. マイク アレイ
2. SafeView スイッチ
3. カメラ
4. カメラ ステータス LED
5. マイク
6. ディスプレイ パネル
7. バッテリー ステータス LED

左面図



1. 電源アダプターポート
2. USB Type-C 3.1 Gen 2 ポート (Thunderbolt)
3. HDMI 1.4a ポート
4. USB Type-A 3.1 Gen 1 ポート
5. スマート カード スロット

右面図



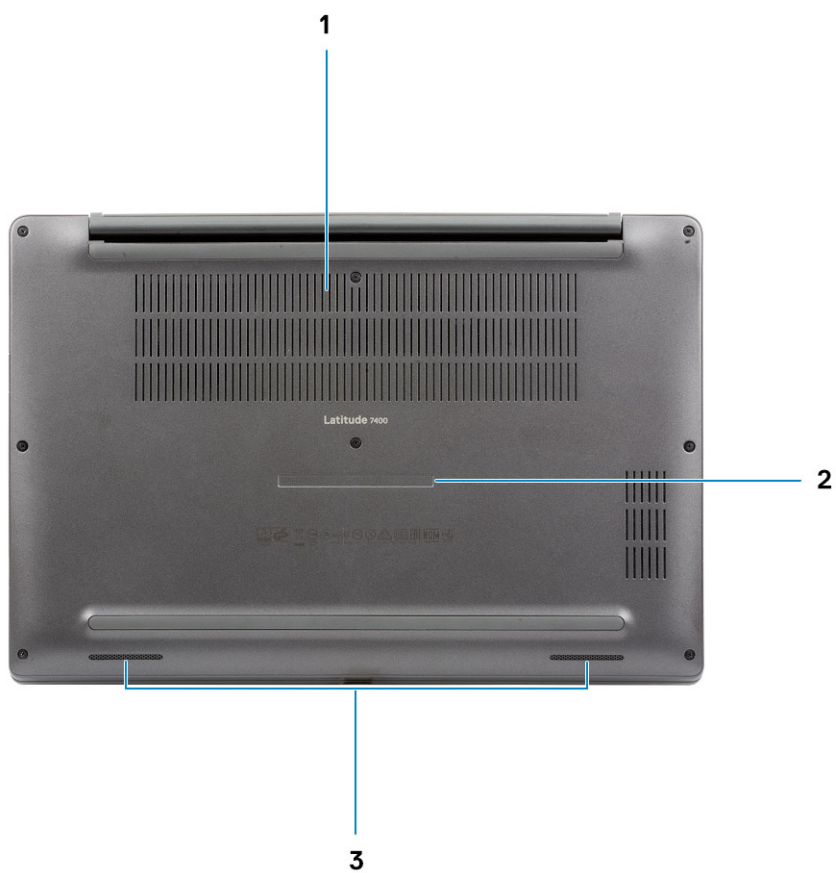
1. ユニバーサル オーディオ ポート (ヘッドセット ジャック、マイク入力、およびライン入力をサポート)
2. microSD 4.0 メモリ カード リーダー
3. SIM カードスロット
4. USB Type-A 3.1 Gen 1 ポート (PowerShare 対応)
5. Noble Wedge ロック スロット

パームレストの図



1. 電源ボタン（オプションの指紋リーダー付き、LED はなし）
2. キーボード
3. タッチパッド

底面図



1. 排熱口
2. サービスタグラベル
3. スピーカー

キーボードのショートカット

① **メモ:** キーボードの文字は、キーボードの言語設定によって異なる場合があります。ショートカットに使用するキーは、すべての言語設定で同じです。

表 2. キーボードのショートカットのリスト

キー	プライマリ動作	セカンダリ動作 (Fn+キー)
<Esc>	戻る	Fn キーロックの切り替え
F1	消音	F1 の動作
<F2>	音量を下げる	F2 の動作
<F3>	音量を上げる	F3 の動作
<F4>	マイクを消音する	F4 の動作
<F5>	キーボード バックライトをオン/オフにする	F5 の動作
<F6>	スクリーンの輝度を下げる	F6 の動作
F7	スクリーンの輝度を上げる	F7 の動作
F8	外部ディスプレイに切り替え	F8 の動作
F10	プリントスクリーン	F10 の動作
F11	ホーム	F11 の動作
F12	終了	F12 の動作
挿入	挿入	Num Lock
削除	削除	削除

技術仕様

メモ: 提供されるものは地域により異なる場合があります。以下の仕様は、お客様のコンピューターの出荷に際して法律で定められた項目のみ記載しています。お使いのコンピューターの構成の詳細については、Windows オペレーティング システムのヘルプとサポートにアクセスして、コンピューターに関する情報を表示するオプションを選択してください。

トピック：

- ・ システム情報
- ・ プロセッサ
- ・ メモリ
- ・ ストレージ
- ・ メディア カード リーダー
- ・ オーディオ
- ・ ビデオカード
- ・ カメラ
- ・ ポートとコネクタ
- ・ ワイヤレス
- ・ ディスプレイ
- ・ キーボード
- ・ タッチパッド
- ・ オペレーティングシステム
- ・ バッテリー
- ・ 電源アダプタ
- ・ 寸法と重量
- ・ コンピュータ環境

システム情報

表 3. システム情報

特長	仕様
チップセット	Intel チップセット
DRAM バス幅	64 ビット
フラッシュ EPROM	24 MB / 32 MB
PCIe バス	100 Mhz

プロセッサ

メモ: プロセッサ番号は、パフォーマンスの尺度ではありません。プロセッサの可用性は変わることがあり、地域や国によって異なる場合があります。

表 4. プロセッサの仕様

タイプ	UMA グラフィックス
第 8 世代インテル Core i5-8265U プロセッサ (Quad Core (QC), 6M SmartCache、ベース周波数 1.6 GHz、最大 3.9 GHz)	
第 8 世代インテル Core i7-8665U プロセッサ (QC、8M SmartCache、ベース周波数 1.9 GHz、最大 4.8 GHz)	インテル UHD グラフィックス 620 (第 8 世代インテル Core)
第 8 世代インテル Core i5-8365U プロセッサ (QC、6M SmartCache、ベース周波数 1.6 GHz、最大 4.1 GHz)	

メモリ

表 5. メモリの仕様

特長	仕様
最低メモリ構成	4 GB
最大メモリ構成	32 GB
スロット数	SoDIMM (2)
メモリオプション	4 GB (1 x 4 GB) 8 GB (1 x 8 GB) 8 GB - 2 x 4 GB 16 GB (1 x 16 GB) 16 GB - 2 x 8 GB 32 GB - 2 x 16 GB
タイプ	DDR4
速度	2400 MHz

ストレージ

表 6. ストレージの仕様

タイプ	フォームファクタ	インタフェース	容量
ソリッドステートドライブ	M.2 2280	PCIe / SATA	最大 1 TB
ソリッドステートドライブ	M.2 2230 (ブラケット付き)	PCIe	128 GB
自己暗号化ドライブ (SED) / Opal SED	M.2 2280	PCIe NVMe	256 GB

メディア カード リーダー

表 7. メディア カード リーダーの仕様

特長	仕様
タイプ	1 x microSD カード スロット
サポートされているカード	SD

表 7. メディア カード リーダーの仕様 (続き)

特長	仕様
	- SDHC - SDXC

オーディオ

表 8. オーディオの仕様

特長	仕様
コントローラ	Waves MaxxAudio Pro 搭載 Realtek ALC3254
タイプ	2 チャンネル HD オーディオ
スピーカー	2 (指向性スピーカー)
インタフェース	Intel HDA バス
アンプ内蔵スピーカー	2 W (RMS) / チャンネル

ビデオカード

表 9. ビデオ カードの仕様

コントローラ	タイプ	CPU の依存関係	グラフィックスメモリ タイプ	容量	外部ディスプレイ対応	最大解像度
インテル UHD グラフィックス 620	UMA	- 第 8 世代インテル Core i5 プロセッサ - 第 8 世代インテル Core i7 プロセッサ	内蔵	共有システムメモリ	HDMI 1.4a	4096 x 2304

カメラ

表 10. カメラの仕様

特長	仕様
解像度	- 静止画像 : 0.92 メガピクセル - 動画 : 1280 x 720 (30 fps において)
対角視野角	- 対角線 $> / 86.7^{\circ}$ (公差 $\pm 3\%$) - 垂直 $> / 47^{\circ}$
カメラ (オプション)	- カメラなし 6.0 mm RGB HD 6.0 mm RGB IR 3.0 mm RGB IR 2.7 mm RGB HD 照度センサーは、3mm IR カメラ オプションでのみ使用できます
動画の最大解像度	1280 x 720 (HD)(30 FPS)

表 10. カメラの仕様（続き）

特長	仕様
静止画像の最大解像度	0.92 メガピクセル (1280 x 720)

ポートとコネクタ

表 11. ポートとコネクタ

機能	仕様
メモリカードリーダー	microSD 4.0 メモリ カード リーダー (オプション)
USB	- USB Type-C 3.1 Gen 2 ポート (Thunderbolt) (1) - USB Type-A 3.1 Gen 1 ポート (1 ポートは PowerShare 対応) (2)
セキュリティ	- Noble Wedge ロックスロット - スマート カード リーダー (オプション)
ドッキングポート	Dell USB 3.0 ドック (UNO)
オーディオ	ユニバーサル オーディオ ジャック (ヘッドセット ジャック、マイク入力、およびライン入力をサポート)
ビデオ	HDMI 1.4a

ワイヤレス

ワイヤレス LAN カードの仕様

表 12. ワイヤレス LAN カードの仕様

ワイヤレス カード オプション
Qualcomm QCA61x4A 802.11ac デュアル バンド (2x2) ワイヤレス アダプタ + Bluetooth 4.2 (vPro なし)
インテル Dual Band Wireless-AC 9560 Wi-Fi + Bluetooth 5.0 ワイヤレス カード (2x2) (vPro) (Bluetooth はオプション)
インテル Wi-Fi 6 AX200 2x2.11ax 160MHz + Bluetooth 5.0

WWAN カードの仕様

表 13. ワイヤレス WAN カードの仕様

ワイヤレス カード オプション
Mobile Broadband Qualcomm Snapdragon X20 Global Gigabit LTE (オプション)

ディスプレイ

表 14. ディスプレイの仕様

特長	仕様
タイプ	14 インチ HD AG (WXGA 1366 x 768)、220 ニット、非タッチディスプレイ 14 インチフル HD AG (1920 x 1080)、300 ニット、非タッチディスプレイ 14 インチフル HD AG (1920 x 1080)、300 ニット、Dynamic Privacy Dell SafeScreen 非タッチディスプレイ 14 インチフル HD AG (1920 x 1080)、255 ニット、タッチディスプレイ
高さ (アクティブ エリア)	173.89 mm (6.85 インチ)
幅 (アクティブ エリア)	309.14 mm (12.18 インチ)
対角線	355.6 mm (14.0 インチ)
明るさ/輝度 (標準)	HD : 220 ニット (Super Low Power) /フル HD : 300 ニット
リフレッシュレート	60 Hz

キーボード

表 15. キーボードの仕様

特長	仕様
キーの数	81 (米国) 82 (英国) 82 (ブラジル) 85 (日本)
サイズ	フルサイズ - X = 19.05 mm キーピッチ - Y = 19.05 mm キーピッチ
バックライト付きキーボード	オプション
レイアウト	QWERTY / AZERTY / 漢字

タッチパッド

表 16. タッチパッドの仕様

特長	仕様
解像度	1048 x 984
寸法	- 幅 : 99.5 mm (3.91 インチ) - 高さ : 53 mm (2.08 インチ)
マルチタッチ	設定可能なシングルタッチおよびマルチタッチジェスチャ

タッチパッドジェスチャ

Windows 10 のタッチパッドジェスチャの詳細については、support.microsoft.com で Microsoft サポート技術情報記事 4027871 を参照してください。

オペレーティングシステム

表 17. オペレーティングシステム

特長	仕様
サポートされているオペレーティングシステム	- Windows 10 Home (64 ビット) - Windows 10 Pro (64 ビット) - Ubuntu

バッテリー

表 18. バッテリーの仕様

タイプ	- ポリマー 3 セル、42 WHr - ポリマー 4 セル、60 WHr - ポリマー 4 セル、60 WHr (LCL)
寸法	ポリマー 3 セル、42 WHr - 幅 : 95.9 mm (3.78 インチ) - 長さ : 200.5 mm (7.89 インチ) - 高さ : 5.7 mm (0.22 インチ) ポリマー 4 セル、60 WHr (LCL) - 幅 : 95.9 mm (3.78 インチ) - 長さ : 238 mm (9.37 インチ) - 高さ : 5.7 mm (0.22 インチ)
重量 (最大)	- ポリマー 3 セル、42 WHr : 192.5 g (0.42 ポンド) - ポリマー 4 セル (LCL) : 270 g (0.60 ポンド)
電圧	11.4 VDC
寿命	- ポリマー 3 セル、42 WHr、および 4 セル、60 WHr (スタンダード パック) : 300 放電/充電サイクル - ポリマー 4 セル、60 WHr (LCL) : 1000 放電/充電サイクル
コンピュータ非起動時の充電時間 (概算)	- Standard Charge : 0°C ~ 50°C : 4 時間 - Express Charge[†] : 0°C ~ 15°C : 4 時間 16°C ~ 45°C : 2 時間 46°C ~ 50°C : 3 時間
動作時間	動作状況によって異なり、電力を著しく消費するような状況ではかなり短くなる可能性があります。
温度範囲 : 動作時	- 充電時 : 0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F) - 放電時 : 0°C ~ 70°C (32°F ~ 158°F)

表 18. バッテリーの仕様（続き）

温度範囲：保管時	-20°C ~ 60°C (-4°F ~ 140°F)
コイン型電池	CR 2032

メモ: †ExpressCharge 機能を備えたバッテリーでは、通常の場合、システムがオフの状態で約 1 時間充電すると 80%以上、システムがオフの状態で約 2 時間充電するとフル充電になります。

ExpressCharge を有効にするには、使用しているシステムとバッテリーの両方が ExpressCharge に対応している必要があります。この要件が満たされていない場合、ExpressCharge は有効になりません。

電源アダプタ

表 19. 電源アダプタの仕様

特長	仕様
タイプ	- E5 65 W 7.4 mm バレル アダプタ - E5 65 W BFR/PVC ハロゲン フリー アダプタ、7.4 mm バレル - E5 65 W Rugged アダプタ、7.4 mm バレル（インドのみ） - E5 90 W 7.4 mm バレル アダプタ 65 W アダプタ、Type-C 90 W アダプタ、Type-C
入力電圧	100 ~ 240 VAC
入力電流（最大）	1.7 A (65 W) 2.5 A (90 W)
入力周波数	50 ~ 60 Hz
出力電流	3.34 A (65 W) 4.62 A (90 W)
定格出力電圧	19.5 VDC
温度範囲（動作時）	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
温度範囲（非動作時）	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)

寸法と重量

表 20. 寸法と重量

特長	仕様	
	アルミ（Al）	カーボンファイバー（CF）
高さ	前面：16.75 mm (0.66 インチ) 背面：18.20 mm (0.72 インチ)	前面：17.82 mm (0.70 インチ) 背面：18.96 mm (0.75 インチ)
幅	321.35 mm (12.65 インチ)	
奥行き	214.08 mm (8.42 インチ)	
重量	1.4 kg (3.11 ポンド)	1.35 kg (2.99 ポンド)

コンピュータ環境

空気汚染物質レベル：G1 (ISA-S71.04-1985 の定義による)

表 21. コンピュータ環境

	動作時	ストレージ
温度範囲	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)	-40°C ~ 65 °C (-40°F ~ 149°F)
相対湿度 (最大)	10 ~ 90 % (結露しないこと) ①メモ: 最大露点温度 = 26°C	0 ~ 95 % (結露しないこと) ①メモ: 最大露点温度 = 33°C
振動 (最大)	0.66 GRMS	1.30 GRMS
衝撃 (最大)	140 G†	160 G‡
高度 (最大)	0 m ~ 3,048 m (0 ~ 10,000 フィート)	0 m ~ 10,668 m (0 ~ 35,000 フィート)

* ユーザー環境をシミュレートするランダム振動スペクトラムを使用して測定。
† ハードドライブの使用中に、2 ミリ秒のハーフサインパルスを使用して測定。
‡ ハードドライブヘッドが停止位置にある時に、2 ミリ秒のハーフサインパルスを使用して測定。

セッアップユーティリティ

△ 注意: コンピューターに詳しい方以外は、BIOS セットアップ プログラムの設定を変更しないでください。特定の変更でコンピュータが誤作動を起こす可能性があります。

① メモ: BIOS セットアップ プログラムを変更する前に、今後の参照用に BIOS セットアップ プログラム画面の情報を控えておくことをお勧めします。

BIOS セットアップ プログラムは次の目的で使用できます。

- RAM の容量やハードドライブのサイズなど、コンピューターに取り付けられているハードウェアに関する情報の取得。
- システム設定情報の変更。
- ユーザー パスワード、取り付けられたハードドライブの種類、基本デバイスの有効化または無効化など、ユーザー選択可能オプションの設定または変更。

トピック：

- [BIOS の概要](#)
- [BIOS セットアッププログラムの起動](#)
- [ナビゲーションキー](#)
- [ワンタイムブートメニュー](#)
- [セッアップユーティリティのオプション](#)
- [BIOS のアップデート](#)
- [システムパスワードおよびセッアップパスワード](#)
- [BIOS \(システムセッアップ\) パスワードとシステムパスワードのクリア](#)

BIOS の概要

BIOS はコンピューターのオペレーティングシステムとハードディスク、ビデオアダプタ、キーボード、マウス、プリンタなどの取り付けられているデバイス間のデータフローを管理します。

BIOS セットアッププログラムの起動

1. PC の電源をオンにします。
2. 直ちに F2 を押して、BIOS セットアップ プログラムを入力します。

① メモ: キーを押すタイミングが遅れて、オペレーティングシステムのロゴが表示されてしまったら、デスクトップが表示されるまでそのまま待機します。その後、PC の電源を切り、操作をやり直してください。

ナビゲーションキー

① メモ: ほとんどのセッアップユーティリティオプションで、変更内容は記録されますが、システムを再起動するまでは有効になりません。

表 22. ナビゲーションキー

キー	ナビゲーション
上矢印	前のフィールドに移動します。
下矢印	次のフィールドへ移動します。

表 22. ナビゲーションキー（続き）

キー	ナビゲーション
入力	選択したフィールドの値を選択するか（該当する場合）、フィールド内のリンクに移動します。
スペースバー	ドロップダウンリストがある場合は、展開したり折りたたんだりします。
タブ	次のフォーカス対象領域に移動します。 ① メモ: 標準グラフィックブラウザ用に限られます。
Esc	メイン画面が表示されるまで、前のページに戻ります。メイン画面で Esc を押すと、未保存の変更の保存を促すメッセージが表示され、システムが再起動します。

ワンタイムブートメニュー

[ワンタイムブートメニュー]を入力するには、PCの電源を入れて、すぐにF12を押します。

① | **メモ:** PCがオンになっている場合は、シャットダウンすることをお勧めします。

ワンタイムブートメニューでは診断オプションを含むオプションから起動可能なデバイスを表示します。起動メニューのオプションは以下のとおりです。

- リムーバブルドライブ(利用可能な場合)
- STXXXX ドライブ（利用可能な場合）
① | **メモ:** XXX は、SATA ドライブの番号を意味します。
- 光学ドライブ（利用可能な場合）
- SATA ハードドライブ（利用可能な場合）
- 診断

ブートシーケンス画面ではセットアップ画面にアクセスするオプションを表示することも可能です。

セットアップユーティリティのオプション

① | **メモ:** お使いのノートパソコンおよび取り付けられているデバイスによっては、このセクションに一覧表示された項目の一部がない場合があります。

一般オプション

表 23. 一般規定

オプション	説明
[システム情報]	このセクションには、コンピュータの主要なハードウェア機能が一覧表示されます。 オプションは次のとおりです。 • [システム情報] ◦ BIOS バージョン ◦ Service Tag ◦ Asset Tag ◦ Ownership Tag ◦ Manufacture Date ◦ Express Service Code • [メモリ構成] ◦ Memory Installed

表 23. 一般規定 (続き)

オプション	説明
	○ Memory Available ○ Memory Speed ○ Memory Channel Mode ○ Memory Technology ○ DIMM A Size ○ DIMM B Size ① メモ: システムの使用のために割り当てられたメモリ量によっては、[Memory Available] は [Memory Installed] よりも小さくなります。また、オペレーティングシステムによっては、使用可能なメモリのすべては利用できない場合があります。 ● [プロセッサ情報] ○ Processor Type ○ Core Count ○ Processor ID ○ Current Clock Speed ○ Minimum Clock Speed ○ Maximum Clock Speed ○ Processor L2 Cache ○ Processor L3 Cache ○ HT Capable ○ 64-Bit Technology ● [デバイス情報] ○ M.2 SATA ○ M.2 SATA1 ○ M.2 PCIe SSD-0 ○ M.2 PCIe SSD-1 ○ Passthrough MAC Address ○ Video Controller ○ Video BIOS Version ○ Video Memory ○ Panel Type ○ Native Resolution ○ Privacy Screen ① メモ: e-Privacy バージョンにのみ表示されます。 ○ Audio Controller ○ Wi-Fi Device ○ Bluetooth Device
[Battery Information]	バッテリー状態とコンピュータに接続している AC アダプタの種類を表示します。
[Boot Sequence (起動順序)]	コンピュータによるオペレーティングシステムの検索順序を変更できます。 オプションは次のとおりです。 ● [Windows Boot Manager] — デフォルト ● [Boot List Option:] 起動リストオプションの追加、削除、表示を行えます。
[詳細起動オプション]	レガシー オプション ROM を有効にできます。 ● [Enable UEFI Network Stack] — デフォルト

表 23. 一般規定（続き）

オプション	説明
[UEFI Boot Path Security]	UEFI 起動パスを起動する際に、システムからユーザーに管理者パスワードの入力を求めるどうかを制御できます。 次のオプションのいずれかをクリックします。 • [Always, Except Internal HDD] - デフォルト • [Always, Except Internal HDD & PXE] • [Always (常に)] • [なし]
[Date/Time]	日付と時間を設定することができます。システム日時の変更はすぐに反映されます。

システム設定

表 24. システム設定

オプション	説明
[SATA Operation]	統合 SATA ハードドライブ コントローラーの動作モードを設定することができます。 次のオプションのいずれかをクリックします。 • [Disabled (無効)] • [AHCI] • [RAID On] - デフォルト  メモ: RAID モードをサポートするには SATA を設定します。
[Drives]	各種オンボード ドライブを有効または無効にすることができます。 オプションは次のとおりです。 • [SATA-1] • [SATA-2] • [M.2 PCIe SSD-0] • [M.2 PCIe SSD-1]
[SMART Reporting]	このフィールドでは、内蔵ドライブのハード ドライブ エラーを起動時に報告するかどうかを制御します。 このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
[USB 設定]	内蔵 USB 設定の有効/無効を切り替えることができます。 オプションは次のとおりです。 • [Enable USB Boot Support (USB 起動サポートを有効にする)] • [Enable External USB Ports (外付け USB ポートを有効にする)] すべてのオプションがデフォルトで設定されています。  メモ: USB キーボードおよびマウスは、この設定に関係なく BIOS セットアップで常に動作します。
[Dell Type-C Dock Configuration]	USB や Thunderbolt アダプタの設定とは関係なく、デルの WD および TB のドック ファミリー (Type-C ドック) と接続できるようにします。 このオプションはデフォルトで有効化されています。

表 24. システム設定（続き）

オプション	説明
[Thunderbolt™ Adapter Configuration]	次の Thunderbolt オプションを有効または無効にすることができます。 • [Thunderbolt (デフォルトで有効)] • [Enable Thunderbolt Boot Support(Thunderbolt 起動サポート を有効にする)] • [Enable Thunderbolt (and PCIe behind TBT) Pre-boot (Thunderbolt (および TBT の後ろの PCIe) Pre-boot を有効にする)] 次のセキュリティレベルを設定できます。 • [No Security (セキュリティなし)] • [User Authentication (デフォルトで有効)] • [Secure Connect (セキュアな接続)] • [Display Port and USB Only]
[Thunderbolt™ Auto Switch]	このオプションは Thunderbolt コントローラーが PCIe デバイス エNUMERATION に使用する方式を設定します。 • [Auto Switch]: BIOS はインストール OS のメリットを最大限に得られるように、Thunderbolt PC デバイス エNUMERATION モードを BIOS Assist と Native の間で自動的に切り替えます • [Native Enumeration]: BIOS は Thunderbolt コントローラーをネイティブ モードにプログラムします (自動切り替え機能は無効) • [BIOS Assist Enumeration]: BIOS は Thunderbolt コントローラーを BIOS アシスト モードにプログラムします (自動切り替え機能は無効)  メモ: この変更を適用するには再起動が必要です。
[USB PowerShare]	このオプションは、USB PowerShare 機能の動作を有効または無効にします。 このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
[オーディオ]	内蔵オーディオコントローラを有効または無効にすることができます。デフォルトでは Enable Audio (オーディオを有効にする) オプションが選択されています。 オプションは次のとおりです。 • [Enable Microphone (マイクを有効にする)] • [Enable Internal Speaker (内蔵スピーカーを有効にする)] このオプションは、デフォルトで設定されています。
[Keyboard Illumination]	このフィールドでは、キーボードライト機能の動作モードを設定できます。 • [Disabled]: キーボードライト機能は常にオフまたは 0% です。 • [Dim]: キーボードライト機能を 50% の輝度で有効にします。 • [Bright (Enabled by Default)]: キーボードライト機能を 100% の輝度レベルで有効にします。  メモ: このオプションは、バックライト キーボードを選択したシステムで使用可能です。
[Keyboard Backlight Timeout on AC/ AC でのキーボードバックライトのタイムアウト]	この機能は、AC アダプタがシステムに接続されている場合の、キーボード バックライトのタイムアウト値を設定します。

表 24. システム設定（続き）

オプション	説明
	オプションは次のとおりです。 • [5 秒] • [10 seconds] (デフォルト設定) • [15 秒] • [30 秒] • [1 分間] • [5 分] • [15 分] • [なし]  メモ: このオプションは、バックライト キーボードを選択したシステムで使用可能です。
[Keyboard Backlight Timeout on Battery (バッテリでのキーボードバックライトのタイムアウト)]	この機能は、システムをバッテリー電源のみで実行している場合の、キーボードバックライトのタイムアウト値を設定します。 オプションは次のとおりです。 • [5 秒] • [10 seconds] (デフォルト設定) • [15 秒] • [30 秒] • [1 分間] • [5 分] • [15 分] • [なし]  メモ: このオプションは、バックライト キーボードを選択したシステムで使用可能です。
[Unobtrusive Mode (控えめモード)]	有効にした場合、Fn+F7 を押すとシステム内のすべてのライトとサウンドがオフになります。Fn+F7 を押すと通常の動作に戻ります。 デフォルトでは無効になっています。
[指紋リーダー]	指紋認証リーダーまたは指紋認証リーダー デバイスのシングルサインオンを有効または無効にします。 • [Enable Fingerprint Reader Device]: デフォルトで有効  メモ: このオプションは、指紋認証リーダー付き電源ボタンを選択したシステムで使用可能です。
[Miscellaneous devices]	各種オンボードデバイスを有効または無効にすることができます。 • [Enable Camera] - デフォルト • [Enable Secure Digital(SD) Card] • [Secure Digital (SD) Card Boot] - 無効 • [Secure Digital Card (SD) Read-Only Mode] - 無効
[MAC Address Pass- Through]	この機能により、外付 NIC の MAC アドレス (サポートされているドックまたは dongle のもの) がシステムから選択された MAC アドレスに置き換えられます。選択可能なオプションは、 • [System Unique MAC Address] - デフォルト • [Disabled (無効)]

ビデオ画面のオプション

表 25. ビデオ

オプション	説明
[LCD Brightness]	電源に応じて、ディスプレイの輝度を設定できます。電源は、バッテリー（100%がデフォルト）と AC（100%がデフォルト）です。
[Privacy Screen]	このオプションは、パネルがプライバシー スクリーンをサポートしている場合、この機能を有効または無効にします。オプションは次のとおりです。 • [Disabled]: プライバシー スクリーンは無効になり、内蔵モニター パネルに適用されません。 • [Enabled — Default]: プライバシー スクリーンは有効になり、内蔵モニター パネルに適用され、内蔵キーボードの Fn+F9 キーの組み合わせにより、パブリック モードとプライバシー モードを切り替えることができます。 • [Always On]: プライバシー スクリーンは常にオンとなり、ユーザーがオフにすることはできません。  メモ: このオプションは、ディスプレイが e-Privacy パネルをサポートしている場合に使用可能です。

セキュリティ

表 26. セキュリティ

オプション	説明
[管理者パスワード]	管理者（Admin）パスワードを設定、変更、削除することができます。 パスワードを設定するには、次の項目を入力します。 • [以前のパスワードを入力する：] • [新たなパスワードを入力する：] • [新たなパスワードを確認する：] パスワードを設定したら、[OK] をクリックします。  メモ: 最初のログイン時には、[Enter the old password:] フィールドは [Not set] と記されています。したがって、最初のログイン時にパスワードを設定する必要があります。その後、パスワードを変更または削除することができます。
[システム パスワード]	システムパスワードを設定、変更、削除することができます。 パスワードを設定するには、次の項目を入力します。 • [以前のパスワードを入力する：] • [新たなパスワードを入力する：] • [新たなパスワードを確認する：] パスワードを設定したら、[OK] をクリックします。  メモ: 最初のログイン時には、[Enter the old password:] フィールドは [Not set] と記されています。したがって、最初のログイン時にパスワードを設定する必要があります。その後、パスワードを変更または削除することができます。
[Strong Password]	常に強力なパスワードを設定するオプションを強制することができます。 • [Enable Strong Password] このオプションは、デフォルトでは設定されていません。

表 26. セキュリティ（続き）

オプション	説明
[パスワードの設定]	パスワードの文字数を定義することができます。最小 4 文字、最大 32 文字です。
[パスワードのスキップ]	これを設定すると、システムの再起動時にシステムパスワードと内蔵 HDD パスワードの入力をバイパスすることができます。 次のいずれかのオプションをクリックします。 • [Disabled] - デフォルト • [Reboot bypass (再起動のスキップ)]
[パスワードの変更]	管理者パスワードが設定されている場合、システムパスワードを変更することができます。 • [Allow Non-Admin Password Changes] このオプションは、デフォルトで設定されています。
[UEFI カプセルファームウェアアップデート]	システム BIOS を UEFI カプセル アップデート パッケージでアップデートすることができます。 • [UEFI カプセルファームウェアのアップデートを有効にする] このオプションは、デフォルトで設定されています。
[HDD Security]	このオプションにより、BIOS のメカニズムを制御して外付の自己暗号化ドライブ (SED) 管理ソフトウェアをブロックし、SED の所有権を取得できます。このオプションは次のとおりです。 • [SED Block SID 認証] • [SED Block SID コマンドの PPI をスキップ] どちらのオプションも、デフォルトでは無効に設定されています。  メモ: このオプションは、SED 搭載のノートパソコンで使用可能です
[TPM 2.0 セキュリティ]	POST 中に、TPM (Trusted Platform Module) を有効または無効にすることができます。 このオプションは次のとおりです。 • [TPM On] - デフォルト • [Clear (クリア)] • [有効なコマンドの PPI をスキップ] - デフォルト • [無効なコマンドの PPI をスキップ] • [Clear コマンドの PPI をスキップ] • [Attestation Enable] - デフォルト • [キー ストレージが有効] - デフォルト • [SHA-256] - デフォルト
[Absolute®]	このフィールドでは、オプションの Absolute® Software 社製 Absolute Persistence Module サービスの BIOS モジュールインターフェイスを、有効化、無効化、恒久的な無効化のいずれかに設定することができます。このオプションはデフォルトで有効化されています。
[OROM キーボードアクセス]	このオプションでは、起動時にホットキーを使用して [Option ROM Configuration] 画面を表示させることができるかどうかを設定します。この設定によって、インテル® RAID (Ctrl+I) またはインテル® マネジメント エンジン BIOS 拡張 (Ctrl+P/F12) へのアクセスを防ぐことができます。 オプションは次のとおりです。 • [Enable] (デフォルト) • [One Time Enable (1 回のみ有効)] • [無効]
[管理者設定のロック]	管理者パスワードが設定されている場合、ユーザーによるセットアップユーティリティの起動を阻止することができます。 • [Enable Admin Setup Lockout (管理者セットアップロックアウトを有効にする)] このオプションは、デフォルトでは設定されていません。

表 26. セキュリティ (続き)

オプション	説明
[マスター パスワードのロック]	マスター パスワードのサポートを無効にすることができます。 • [マスター パスワードのロックアウトを有効にする] このオプションは、デフォルトでは設定されていません。  メモ: この設定を変更する前には、ハード ディスク パスワードをクリアする必要があります。
[SMM セキュリティの緩和]	UEFI SMM Security Mitigation による追加の保護を有効または無効にすることができます。 • [SMM セキュリティの緩和] このオプションは、デフォルトでは設定されていません。

Secure Boot (安全起動)

表 27. 安全起動

オプション	説明
[Secure Boot Enable]	Secure Boot 機能を有効または無効にできます。 • [Secure Boot Enable] - デフォルト
[Secure Boot Mode]	Secure Boot 操作モードを変更すると、Secure Boot の動作が変更され、UEFI ドライバ署名の評価ができるようになります。 いずれかのオプションを選択します。 • [Deployed Mode] - デフォルト • [Audit Mode]
[Expert Key Management]	Expert Key Management を有効または無効にすることができます。 • [カスタムモードを有効にする] このオプションは、デフォルトでは設定されていません。 Custom Mode Key Management のオプションは次のとおりです • [PK] - デフォルト • [KEK] • [db] • [dbx]

Intel Software Guard Extensions のオプション

表 28. インテル ソフトウェア ガード エクステンションズ

オプション	説明
[Intel SGX Enable]	このフィールドでは、メイン OS のコンテキストでコードの実行や、機密情報の保管を行うためのセキュアな環境を設定します。 次のオプションのいずれかをクリックします。 • [Disabled (無効)] • [有効] • [Software controlled] (デフォルト)
[Enclave Memory Size]	このオプションで、[SGX Enclave Reserve Memory Size] を設定します。

表 28. インテル ソフトウェア ガード エクステンションズ (続き)

オプション	説明
	次のオプションのいずれかをクリックします。 • [32 MB] • [64 MB] • [128 MB] (デフォルト)

パフォーマンス

表 29. パフォーマンス

オプション	説明
[Multi Core Support]	このフィールドでは、プロセスで1つのコアを有効にするか、またはすべてのコアを有効にするかを指定します。アプリケーションによっては、コアの数を増やすとパフォーマンスが向上します。 • [All] — デフォルト • [1] • [2] • [3]
[Intel SpeedStep]	プロセッサのインテル SpeedStep モードを有効または無効にすることができます。 • [Enable Intel SpeedStep (Intel SpeedStep を有効にする)] このオプションは、デフォルトで設定されています。
[C-States Control]	プロセッサのスリープ状態を追加で有効または無効に設定することができます。 • [C States] このオプションは、デフォルトで設定されています。
[Intel® TurboBoost™]	このオプションでは、プロセッサのインテル® TurboBoost™ モードを有効または無効にします。
[Hyper-Thread Control]	ハイパースレッドをプロセッサで有効または無効にすることができます。 • [Disabled (無効)] • [Enabled] — デフォルト

電力管理

表 30. 電源管理

オプション	説明
[AC Behavior]	AC アダプタが接続されるとコンピュータの電源が自動的にオンになる機能を有効または無効にすることができます。 • [Wake on AC (ウェイクオン AC)] このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
[Enable Intel Speed Shift technology]	このオプションを使用して、インテル Speed Shift Technology のサポートを有効または無効に設定します。 このオプションは、デフォルトでは設定されていません。

表 30. 電源管理（続き）

オプション	説明
[Auto On Time]	コンピュータを自動的に電源オンにする必要のある時刻を設定できます。 オプションは次のとおりです。 • [Disabled] — デフォルト • [Every Day (毎日)] • [Weekdays (平日)] • [Select Days (選択した日)] このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
[USB Wake Support]	USB デバイスでシステムをスタンバイモードからウェイクさせることができます。 • [Wake on Dell USB-C Dock] このオプションは、デフォルトで設定されています。
[Wireless Radio Control]	このオプションを有効にすると、有線ネットワークへのシステムの接続を検出し、その後、選択したワイヤレス無線（WLAN および/または WWAN）を無効化します。有線ネットワークが切断されると、選択したワイヤレス無線が有効化されます。 • [Control WLAN radio (WLAN 無線の制御)] • [Control WWAN radio (WWAN 無線の制御)] どちらのオプションも、デフォルトでは設定されていません。
[Block Sleep]	このオプションでは、OS の環境でスリープに入ることを防ぐことができます。 このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
[Peak Shift]	ピーク シフト機能を有効または無効にすることができます。この機能を有効にすると、需要ピーク時の AC 電源の使用量を最小限に抑えることができます。バッテリーは、ピーク シフト開始から終了まで充電されません。 ピーク シフトの開始と終了時間は、すべての平日に設定することができます。 このオプションは、バッテリーの閾値（15%から 100%）を設定します。
[Advanced Battery Charge Configuration]	このオプションにより、バッテリーの性能を最大限に活用できます。このオプションを有効にすることで、標準充電アルゴリズムと他のテクニックを使用して、非作業時間にバッテリーの性能を高めます。 Advanced Battery Charge モードは、すべての平日に設定することができます。
[Primary Battery Charge Configuration]	バッテリーの充電モードを選択することができます。 オプションは次のとおりです。 • [Adaptive] — デフォルト • [Standard] - 標準速度でバッテリーをフル充電します。 • [ExpressCharge™] - デルの高速充電テクノロジーを使って、より短い時間でバッテリーを充電することができます。 • [Primarily AC use (主に AC を使用)] • [カスタム] Custom Charge（カスタム充電）が選択されている場合は、Custom Charge Start（カスタム充電開始）と Custom Charge Stop（カスタム充電停止）も設定できます。  メモ: バッテリーによっては、一部の充電モードが使用できない場合もあります。

POST 動作

表 31. POST 動作

オプション	説明
[Adapter Warnings]	特定の電源アダプタを使用する場合に、セットアップユーティリティ (BIOS) の警告メッセージを、有効または無効にすることができます。 • [Enable Adapter Warnings] - デフォルト
[Keyboard Embedded]	内蔵キーボードに組み込まれているキーパッドの 2 種類の利用方法から 1 種類を選択できます。オプションは次のとおりです。 • [Fn Key Only (Fn キーのみ)] • [By Numlock]
[Numlock Enable]	システムの起動時に Numlock 機能の有効、無効を切り替えることができます。 • [Enable Numlock] —デフォルト
[Fn Lock Options]	ホットキーの組み合わせ <Fn>+<Esc> で、F1 ~ F12 のプライマリ動作を標準機能と二次機能との間で切り替えることができます。このオプションを無効にすると、これらのキーのプライマリ動作を動的に切り替えることはできません。 • [Fn Lock] - デフォルト 次のオプションのいずれかをクリックします。 • [ロックモード無効 / 標準] • [Lock Mode Enable/Secondary] —デフォルト
[Fastboot]	一部の互換性手順をスキップすることにより、起動プロセスを高速化できます。 次のオプションのいずれかをクリックします。 • [Minimal] —デフォルト • [Thorough (完全)] • [自動]
[Extended BIOS POST Time]	プレブート遅延を追加で作成できます。 次のオプションのいずれかをクリックします。 • [0 seconds] —デフォルト • [5 秒] • [10 秒]
[Full Screen logo]	お使いのイメージが画面解像度に一致する場合に、フルスクリーンロゴを表示するかどうかを指定します。 • [Enable Full Screen Logo (フルスクリーンロゴを有効にする)] このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
[Warnings and Errors]	停止/プロンプト/ユーザー入力の待機、警告の検出時には続行するがエラー時には一時停止、POST 処理中に警告またはエラーが検出されても続行、のいずれかのオプションを選択できます。 次のオプションのいずれかをクリックします。 • [Prompt on Warnings and Errors] —デフォルト • [Continue on Warnings (警告検出でも続行)] • [Continue on Warnings and Errors (警告およびエラーの検出でも続行)]

管理性

 **メモ:** このオプションは、インテル vPro が有効なシステムで使用可能です。

表 32. 管理性

オプション	説明
[Intel AMT Capability]	このオプションにより、システムのインテル AMT 機能の有効、無効を切り替えます。オプションは次のとおりです。 • [Disabled (無効)] • [有効] • [Restrict MEBx Access]
[USB Provision]	有効に設定すると、USB ストレージ デバイスのローカル プロビジョニング ファイルを使用して、インテル AMT をプロビジョニングできます。このオプションはデフォルトで無効に設定されています。
[MEBx Hotkey]	このオプションは、システムを起動するときに、どの MEBx ホットキー機能を有効にするかを指定します。

Virtualization Support (仮想化サポート)

表 33. 仮想化サポート

オプション	説明
[Virtualization]	このオプションでは、インテル仮想化テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を VMM (Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。 • [Enable Intel Virtualization Technology] このオプションは、デフォルトで設定されています。
[VT for Direct I/O]	ダイレクト I/O 向けインテル仮想化テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を VMM (Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。 • [Enable VT for Direct I/O] このオプションは、デフォルトで設定されています。
[Trusted Execution]	このオプションでは、インテル® トラステッド エグゼキューション テクノロジーが提供する付加的なハードウェア機能を、MVMM (Measured Virtual Machine Monitor) で使用できるようにするかどうかを指定します。  メモ: この機能を使用するには、TPM を有効にして起動しておき、また VT (仮想化テクノロジー) およびダイレクト I/O 向け VT を有効にする必要があります。

ワイヤレスオプション

表 34. ワイヤレス

オプション	説明
[Wireless Device Enabled]	ワイヤレススイッチで制御できるワイヤレスデバイスを設定することができます。 オプションは次のとおりです。 • [WWAN / GPS] • [WLAN] • [Bluetooth®] すべてのオプションがデフォルトで有効に設定されています。

メンテナンス

表 35. メンテナンス

オプション	説明
[Service Tag]	コンピュータのサービスタグを表示します。
[Asset Tag]	Asset Tag が未設定の場合、システムの Asset Tag を作成できます。 このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
[BIOS Downgrade]	システム ファームウェアの以前のリビジョンをフラッシュすることができます。 • [Allow BIOS Downgrade (BIOS のダウングレードを許可する)] このオプションは、デフォルトで設定されています。
[Data Wipe]	すべての内蔵ストレージ デバイスからデータを安全に消去できます。 • [Wipe on Next Boot] このオプションは、デフォルトでは設定されていません。
[Bios Recovery]	[BIOS Recovery from Hard Drive] - このオプションはデフォルトで設定されています。ハードディスク ドライブまたは外部 USB キーのリカバリ ファイルから、破損した BIOS をリカバリできます。 [BIOS Auto-Recovery] - BIOS を自動的にリカバリできます。  メモ: [[BIOS Recovery from Hard Drive]] フィールドを有効にする必要があります。 [Always Perform Integrity Check] - 毎回起動時に整合性チェックを実行します。

システムログ

表 36. システムログ

オプション	説明
[BIOS events]	セットアップユーティリティ (BIOS) の POST イベントを表示またはクリアすることができます。
[Thermal Events]	セットアップユーティリティ (Thermal) のイベントを表示またはクリアすることができます。
[Power Events]	セットアップユーティリティ (Power) のイベントを表示またはクリアすることができます。

BIOS のアップデート

Windows での BIOS のアップデート

 **注意:** BitLocker を一時停止せずに BIOS をアップデートすると、次回システムを再起動した際、BitLocker キーが認識されません。その後、続行するためにはリカバリー キーの入力を求められ、これは再起動のたびに要求されるようになります。リカバリー キーが不明な場合は、データ ロスの原因となったり、本来必要のないオペレーティング システムの再インストールが必要になったりする可能性があります。この問題の詳細については、次のナレッジベース記事を参照してください。 <https://www.dell.com/support/article/sln153694>

- www.dell.com/support にアクセスします。
- [製品名] をクリックします。[検索サポート] ボックスでお使いの PC のサービス タグを入力し、[検索] をクリックします。
 **メモ:** サービス タグがない場合は、SupportAssist 機能を使用して、お使いの PC を自動で確認してください。製品 ID を使用するか、お使いの PC のモデルを手動で参照することもできます。

3. [Drivers & Downloads] (ドライバおよびダウンロード) をクリックします。[ドライバーの検索] を展開します。
4. お使いのコンピュータにインストールされているオペレーティング システムを選択します。
5. [カテゴリー] ドロップダウン リストで [BIOS] を選択します。
6. 最新の BIOS バージョンを選択して [ダウンロード] をクリックし、お使いの PC 用の BIOS ファイルをダウンロードします。
7. ダウンロードが完了したら、BIOS アップデート ファイルを保存したフォルダーを参照します。
8. BIOS アップデート ファイルのアイコンをダブルクリックし、画面に表示される指示に従います。
詳細については、www.dell.com/support でナレッジ ベース記事 [000124211](#) を参照してください。

Linux および Ubuntu での BIOS のアップデート

Linux または Ubuntu がインストールされている PC のシステム BIOS をアップデートするには、www.dell.com/support にあるナレッジ ベース記事 [000131486](#) を参照してください。

Windows の USB ドライブを使用した BIOS のアップデート

 **注意:** BitLocker を一時停止せずに BIOS をアップデートすると、次回システムを再起動した際、BitLocker キーが認識されません。その後、続行するためにはリカバリー キーの入力を求められ、これは再起動のたびに要求されるようになります。リカバリー キーが不明な場合は、データ ロスの原因となったり、本来必要のないオペレーティング システムの再インストールが必要になったりする可能性があります。この問題の詳細については、次のナレッジベース記事を参照してください。 <https://www.dell.com/support/article/sln153694>

1. 「Windows での BIOS のアップデート」にある手順 1~6 に従って、最新の BIOS セットアップ プログラム ファイルをダウンロードします。
2. 起動可能な USB ドライブを作成します。詳細については、www.dell.com/support でナレッジ ベース記事 [000145519](#) を参照してください。
3. BIOS セットアップ プログラム ファイルを起動可能な USB ドライブにコピーします。
4. 起動可能な USB ドライブを BIOS のアップデートを必要とするコンピュータに接続します。
5. PC を再起動し、**F12** を押します。
6. **ワン タイム ブート メニュー** から USB ドライブを選択します。
7. BIOS セットアップ プログラムのファイル名を入力し、**Enter** を押します。
BIOS アップデート ユーティリティが表示されます。
8. 画面の指示に従って BIOS のアップデートを完了します。

F12 ワンタイム ブート メニューからの BIOS のアップデート

FAT32 USB ドライブにコピーされた BIOS update.exe ファイルを使用して PC の BIOS をアップデートし、F12 ワンタイム ブート メニューから起動します。

 **注意:** BitLocker を一時停止せずに BIOS をアップデートすると、次回システムを再起動した際、BitLocker キーが認識されません。その後、続行するためにはリカバリー キーの入力を求められ、これは再起動のたびに要求されるようになります。リカバリー キーが不明な場合は、データ ロスの原因となったり、本来必要のないオペレーティング システムの再インストールが必要になったりする可能性があります。この問題の詳細については、次のナレッジベース記事を参照してください。 <https://www.dell.com/support/article/sln153694>

BIOS のアップデート

ブータブル USB ドライブを使用して Windows から BIOS アップデート ファイルを実行するか、PC の F12 ワンタイム ブート メニューから BIOS をアップデートできます。

2012 年より後に構築されたほとんどの Dell 製 PC にはこの機能があり、PC を F12 ワンタイム ブート メニューで起動することにより、PC のブート オプションとして [BIOS フラッシュ アップデート] がリストされていることを確認できます。このオプションがリストされている場合、BIOS はこの BIOS アップデート オプションをサポートします。

 **メモ:** F12 ワンタイム ブート メニューに [BIOS フラッシュ アップデート] オプションがある PC でのみ、この機能を使用できます。

ワンタイム ブート メニューからのアップデート

F12 ワンタイム ブート メニューから BIOS をアップデートするには、次のものがが必要です。

- FAT32 ファイル システムにフォーマットされた USB ドライブ (キーはブータブルでなくてもよい)
- Dell サポート用 Web サイトからダウンロードして、USB ドライブの root にコピーした BIOS 実行可能ファイル
- PC に接続された AC 電源アダプター
- BIOS をフラッシュする動作可能な PC バッテリー

F12 メニューから BIOS アップデート フラッシュ プロセスを実行するには、次の手順を実行します。

 **注意:** BIOS のアップデート プロセス中に PC の電源をオフにしないでください。PC の電源をオフにすると、PC が起動しない場合があります。

1. 電源オフの状態から、フラッシュをコピーした USB ドライブを PC の USB ポートに挿入します。
2. PC の電源をオンにして F12 を押し、ワンタイム ブート メニューにアクセスした後、マウスまたは矢印キーを使用して [BIOS アップデート] を選択し、Enter を押します。
フラッシュ BIOS メニューが表示されます。
3. [[ファイルからフラッシュ]] をクリックします。
4. 外部 USB デバイスを選択します。
5. ファイルを選択してフラッシュ ターゲット ファイルをダブルクリックした後、[送信] をクリックします。
6. [BIOS のアップデート] をクリックします。PC が再起動して、BIOS をフラッシュします。
7. BIOS のアップデートが完了すると、PC が再起動します。

システムパスワードおよびセットアップパスワード

表 37. システムパスワードおよびセットアップパスワード

パスワードの種類	説明
システムパスワード	システムにログインする際に入力が必要なパスワードです。
セットアップパスワード	お使いの PC の BIOS 設定にアクセスして変更をする際に入力が必要なパスワードです。

システムパスワードとセットアップパスワードを作成してお使いの PC を保護することができます。

 **注意:** パスワード機能は、PC 内のデータに対して基本的なセキュリティを提供します。

 **注意:** PC をロックせずに放置すると、PC 上のデータにアクセスされる可能性があります。

 **メモ:** システムパスワードとセットアップパスワード機能は無効になっています。

システム セットアップパスワードの割り当て

ステータスが未設定の場合のみ、新しいシステム パスワードまたは管理者パスワードを割り当てることができます。

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に F12 を押します。

1. [システム BIOS]画面または[システム セットアップ]画面で[セキュリティ]を選択し、Enter を押します。
[セキュリティ]画面が表示されます。
2. [システム/管理者パスワード]を選択し、[新しいパスワードを入力]フィールドでパスワードを作成します。
以下のガイドラインに従ってシステムパスワードを設定します。
 - パスワードの文字数は 32 文字までです。
 - 少なくとも 1 個の特殊文字: ! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ ` { | }
 - 0 ~ 9 の数字。
 - A ~ Z の大文字。
 - a ~ z の小文字。
3. 新しいパスワードの確認フィールドで以前入力したシステムパスワードを入力し、[OK] をクリックします。
4. Esc を押し、ポップアップ メッセージの指示に従って変更を保存します。
5. Y を押して変更を保存します。
PC が再起動されます。

既存のシステム セットアップパスワードの削除または変更

既存のシステム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを削除または変更しようとする前に、[パスワード ステータス] が (システム セットアップで) ロック解除になっていることを確認します。パスワード ステータスがロックされている場合は、既存のシステム パスワードやセットアップ パスワードを削除または変更できません。

システム セットアップを起動するには、電源投入または再起動の直後に F12 を押します。

1. [システム BIOS]画面または[システム セットアップ]画面で、[システム セキュリティ]を選択し、Enter を押します。
System Security (システムセキュリティ) 画面が表示されます。
2. システムセキュリティ画面でパスワードステータスがロック解除に設定されていることを確認します。
3. [システム パスワード]を選択し、既存のシステム パスワードをアップデートまたは削除して、Enter または Tab を押します。
4. [セットアップ パスワード]を選択し、既存のセットアップ パスワードをアップデートまたは削除して、Enter または Tab を押します。

メモ: システム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを変更する場合、プロンプトが表示されたら、新しいパスワードを再入力します。システム パスワードおよび/またはセットアップ パスワードを削除する場合、プロンプトが表示されるので削除を確認します。

5. Esc を押すと、変更の保存を求めるメッセージが表示されます。
6. Y を押して変更を保存しシステム セットアップを終了します。
PC が再起動されます。

BIOS (システム セットアップ) パスワードとシステム パスワードのクリア

システムまたは BIOS パスワードをクリアするには、Dell テクニカル サポート (www.dell.com/contactdell) にお問い合わせください。

メモ: Windows またはアプリケーションのパスワードのリセットする方法については、Windows またはお使いのアプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。

ソフトウェア

本章では、対応オペレーティングシステムおよびドライバのインストール方法について詳しく説明します。

トピック：

- [ドライバのダウンロード](#)

ドライバのダウンロード

1. ノートブックの電源を入れます。
2. **Dell.com/support** にアクセスしてください。
3. [Product Support (製品サポート)] をクリックし、お使いのノートブックのサービスタグを入力して、[Submit (送信)] をクリックします。
 **メモ:** サービスタグがない場合は、自動検出機能を使用するか、お使いのノートブックのモデルを手動で参照してください。
4. [Drivers and Downloads (ドライバおよびダウンロード)] をクリックします。
5. お使いのノートブックにインストールされているオペレーティングシステムを選択します。
6. ページをスクロール ダウンし、ドライバを選択してインストールします。
7. [Download File] をクリックして、お使いのノートブックのドライバをダウンロードします。
8. ダウンロードが完了したら、ドライバファイルを保存したフォルダに移動します。
9. ドライバファイルのアイコンをダブルクリックし、画面の指示に従います。

トピック：

- [デルへのお問い合わせ](#)

デルへのお問い合わせ

 **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国／地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. **Dell.com/support** にアクセスします。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある「国／地域の選択」ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。